

知事 新春あいさつ 2015

県民の皆さま、明けましておめでとうございます。

平成27年の年頭にあたり、県民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



昨春秋には、第34回全国豊かな海づくり大会くやまとくが天皇皇后両陛下御臨席のもと県南部で開催され、多くの方々

にご参加いただきました。県民の皆さまには、行催事の開催等にご協力いただき、改めて感謝申し上げます。

この大会を機に、県南部・東部地域振興のための取り組みをさらに推進してまいります。

本年も、「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ことを県政の目指すべき目標として、その実現に向け精一杯取り組んでいきたいと思っております。

本県独自の地方創生の実現に取り組みます。

人口減少克服と地方創生の実現に向け、国の動きとうまくマッチングさせながら、本県独自の取り組みを積極的に進めます。

産業の分野では、3つのリーディング産業と6つのチャレンジ産業に焦点をあて、産業振興に積極的に取り組みます。特に宿泊産業については、県がイニシアティブをとり、意欲のある宿泊施設と連携・協働して活性化を図っていきます。

また、京奈和自動車道の整備や御所インターチェンジ周辺での産業集積地の形成など、

企業が立地しやすい環境づくりを進めるとともに、女性や若者にも適したしごとの創出・就労支援を行います。

文化・観光の分野では、今年も「ムジークフエストナラ」や「奈良県大芸術祭」、「馬見チューリップフェア」を開催するなど、奈良の豊かな歴史・文化・自然をアピールするとともに、首都圏を中心に観光キャンペーンを実施するなど、効果的な施策を展開したいと考えています。

農林業の振興のため、「奈良の食と農の振興」、「奈良の木のブランド化」などに着実に取り組んでいきます。

さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に、文化発信、インバウンド、スポーツ振興、にぎわいの拠点整備などにも取り組み、本県経済の持続的な発展につなげていきます。

くらしやすい奈良を創ります。

次に、県民の皆さまの健康長寿を願って昨年オープンした「まほろば健康パーク」の活用を促進するなど、着実に健康寿命を延ばすための施策を市町村等とともに進めていきます。

医療や福祉の関係者、市町村と連携を図りつつ、医療・介護・生活支援サービス等を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

医療の充実については、奈良県総合医療センターの移転整備や奈良県立医科大学附属病院E病棟、南和地域での南奈良総合医療センターの整備など、県民の皆さまに安心していただける地域医療体制づくりを引き続き進めてまいります。

また、県と市町村が連携して、駅や病院などの拠点を中心としたにぎわいのある住みよいまちづくりの取り組みを一層推進します。

県南部・東部地域の振興に取り組みます。

紀伊半島大被害からの復旧については、道路や河川、砂防等の復旧工事が順調に進み、避難されていた方々全員の帰宅にも目途がつかまりました。

今後は、「復旧・復興」から「地域の振興」へとステージを移し、「交流」と「定住」を二本柱とした南部・東部地域のさらなる振興に、積極的に取り組んでいきます。

これからも、県民の皆さまのご意見やご提案に十分耳を傾け、皆さまとともに、より良い奈良の未来を築いていきたいと考えております。

皆さまの一層のお力添えを心からお願い申し上げます。

奈良県知事

荒井正吾